

2024 年 10 月 1 日

阪神電気鉄道株式会社
阪急電鉄株式会社
神戸電鉄株式会社

神戸高速線の鉄道駅バリアフリー料金收受開始日を 2025 年 1 月 19 日に決定しました

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介）、阪急電鉄株式会社（本社：大阪市北区、社長：嶋田泰夫）及び神戸電鉄株式会社（本社：神戸市兵庫区、社長：井波 洋）は、3 社が第二種鉄道事業(※)として運営する神戸高速線において鉄道駅バリアフリー料金制度を活用すると発表（2024 年 4 月 30 日付プレスリリース）していましたが、同料金の收受開始日を 2025 年 1 月 19 日（日）に決定しましたのでお知らせします。

なお、本日、国土交通省近畿運輸局に同料金制度を活用した料金設定及び整備等計画を届け出ました。

今後、お客様のご負担も得てバリアフリー化を促進する制度である「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用することで、神戸高速線各駅においてホームドア等を整備し、より安全・安心にご利用いただける環境の実現に努めてまいります。

收受開始日等の詳細は以下のとおりです。

(※)第二種鉄道事業

…鉄道事業法における分類で、自らが敷設する鉄道線路以外の鉄道線路を使用して鉄道による旅客又は貨物の運送を行う事業をいいます。

1. 料金收受開始日

2025 年 1 月 19 日（日）

2. 整備等計画の届出について

<届出の概要>

- ① 料金收受期間 2025 年 1 月 19 日～2035 年度（2036 年度以降も継続予定）
- ② 料金設定路線 神戸高速線全線
- ③ 料金設定額及び料金設定後の運賃 別紙のとおり（2024 年 4 月 30 日公表内容）

以 上

【料金設定額（大人）】

定期外 1 乗車につき	定期			
	通勤			通学
	1 か月	3 か月	6 か月	
10 円	380 円	1,080 円又は 1,090 円	2,050 円又は 2,060 円	設定なし

- 小児については、鉄道駅バリアフリー料金設定後の大人旅客運賃の半額（10 円未満の端数は切上げ）となります。

【料金設定後の運賃（大人）】（単位：円）

普通運賃

区数	キロ程	現行運賃	運賃 + 料金
1	1～3	130	140
2	4～6	150	160

通勤定期運賃

所定		1か月		3か月		6か月	
区数	キロ程	現行運賃	運賃 + 料金	現行運賃	運賃 + 料金	現行運賃	運賃 + 料金
1	1～3	4,690	5,070	13,370	14,450	25,330	27,380
2	4～6	5,460	5,840	15,570	16,650	29,490	31,540

連絡割引		1か月		3か月		6か月	
区数	キロ程	現行運賃	運賃 + 料金	現行運賃	運賃 + 料金	現行運賃	運賃 + 料金
1	1～3	4,290	4,670	12,230	13,310	23,170	25,220
2	4～6	5,080	5,460	14,480	15,570	27,440	29,490

高速全線		1か月		3か月		6か月	
		現行運賃	運賃 + 料金	現行運賃	運賃 + 料金	現行運賃	運賃 + 料金
		6,150	6,530	17,530	18,620	33,210	35,270

バリアフリー整備・徴収計画

鉄軌道事業者名	阪神電気鉄道株式会社・阪急電鉄株式会社・神戸電鉄株式会社 (神戸高速線)
---------	---

整備方針	
全期間	・お客様に安心してご利用いただける鉄道サービスを提供するため、神戸高速線（東西線・南北線）において、ホームドアを整備する。 ・各駅のエレベーター、エスカレーター等の更新を順次進めていく。
2024～2025年度	・神戸高速線（新開地駅（東西線））において、ホームドアを整備する。
2026～2035年度	・神戸高速線（全6駅）において、ホームドア（20番線）を整備する。 ・エレベーター（1駅2基）、エスカレーター（2駅3基）を更新する。

料金額				
券種	定期外		定期券	
	普通券 (磁気券)	普通券 (IC)	通勤定期券	通学定期券
設定額（円）	10円	10円	(※1)	—
年間徴収額 (百万円)	200百万円 (※2)		130百万円	—
料金徴収 対象駅	神戸高速線各駅			
備考	(注) 設定額は税込額 ※1：1か月380円、3か月1,080円または1,090円、6か月2,050円または2,060円 ※2：普通回数乗車券、団体乗車券、貸切乗車券、一部の企画乗車券も徴収対象とする 鉄道駅バリアフリー料金を加算した運賃に関する詳細は、別途周知する。			

年間徴収額	330	百万円
徴収期間	12	年間（2025.1.19～2036.3.31）※2036年度以降も継続予定
総徴収額	3,700	百万円
総整備費	6,818	百万円
	2024～2025年度の計画：513百万円	
	2026～2035年度の計画：6,305百万円 ※2036年度以降も継続予定	

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2024.4～2026.3）

整備内容			
（１）設置・改良費（附帯費用含む）			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	駅	番線	54 百万円
（２）更新費（附帯費用含む）			
① 設備更新			
設備名	整備数		整備費
エレベーター	駅	基	百万円
エスカレーター	駅	基	百万円
（３）維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費（附帯費用含む）		25	百万円
収受システム改修費		122	百万円
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		312	百万円（※）
備考	（※）その他費用は駅務機器改修費、駅頭表示改修費		

※整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

※整備費：計画期間内に整備する設備の費用（計画期間内に供用開始しない設備の費用も含む。）

計画期間内の整備費（（１）～（３）の合計）	513 百万円
-----------------------	---------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		0	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2026.4～2036.3）

整備内容			
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	6 駅	20 番線	5,636 百万円
(2) 更新費（附帯費用含む）			
① 設備更新			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	2 駅	8 番線	54 百万円
エレベーター	1 駅	2 基	277 百万円
エスカレーター	2 駅	3 基	147 百万円
備考			
② 車両更新			
路線名	整備数		整備費
	編成	両	百万円
ホームドア整備等 との一体性について			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費（附帯費用含む）	191	百万円	
収受システム改修費	0	百万円	(※)
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	0	百万円	(※)
備考	※ 2036年度以降も継続予定のため、本制度終了時に必要となる収受システム改修費及びその他費用について、本届出には計上していない。		

※整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

※整備費：計画期間内に整備する設備の費用（計画期間内に供用開始しない設備の費用も含む。）

計画期間内の整備費（（1）～（3）の合計）	6,305 百万円
-----------------------	-----------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		20	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅